
XML コンソーシアム、「愛・地球博」期間中試験提供の道路交通情報 Web サービスと連携する複合 Web サービスの実証実験に成功 ～ 「愛・地球博」期間中、実証実験システムをインターネット上で運用 ～

XML コンソーシアム(会長：鶴保証城(独)情報処理推進機構ソフトウェアエンジニアリングセンター所長)は、(財)日本道路交通情報センター(JARTIC)が「愛・地球博」(2005年日本国際博覧会)開催期間中に Web サービスを利用して試験的に配信する道路交通情報と、既存のコンテンツを複数組み合わせた複合 Web サービスを実現する実証実験に成功しました。XML コンソーシアムは、この実証実験システムを「愛・地球博」期間中にインターネット上で稼動するとともに、ビジネスシヨウ TOKYO 2005(<http://bs.noma.or.jp/>、5月18～19日)や XML コンソーシアム Week(6月10日)にて、システムの紹介やデモ展示を実施します。

実証実験では、道路交通情報と、衛星地図情報、気象情報、宿泊施設情報、観光情報などのコンテンツ提供サービスと、携帯電話からの位置情報・写真付きレポート、ブログ、知識検索、翻訳、メールなどの機能を Web サービス技術で有機的に組み合わせて、「愛・地球博」へ観光に行くことを想定した旅行プラン作成を支援するシステムを実現しました。Web サービス技術を使用してインターネット上の最新のコンテンツ情報をリアルタイムに取り込むことにより、利用者の希望に合う旅行プランを簡便、迅速、的確に作成できます。

本システムで利用する複数の Web サービスの選択や組み合わせは、WS-BPEL(Web Services Business Process Execution Language)を利用し、サービス指向アーキテクチャ(SOA)に基づいて実現しました。宿泊施設情報には、(社)日本旅行業協会と XML コンソーシアムで共同開発した旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML」を利用しました。また、すべてのサービスで利用する情報は、データ交換形式として XML を利用し、その有効性を検証しました。

XML コンソーシアムでは、今回の実証実験で蓄積された Web サービスを構築するために必要な設計指針、ノウハウ、基礎データなどを今後広く公開していく予定です。

本実証実験には、XML コンソーシアム Web サービス実証部会とメタデータ活用部会を中心に、アドソル日進(株)、(株)内田洋行、(株)エルザ、(株)ジャストシステム、Sky(株)、東

京エレクトロン(株)、日本電気(株)、日本アイオナテクノロジー(株)、日本アイ・ピー・エム(株)、日本オラクル(株)、日本ユニシス(株)、(株)ノムラシステムコーポレーション、(株)日立システムアンドサービス、(株)日立製作所、日立ソフトウェアエンジニアリング(株)、PFU アクティブラボ(株)、(株)フジミック、(株)プレイネットワークス、(株)リコーの 19 社が参加し、以下の製品・ツール、サービスを使用してシステムを構築しました。

使用した Web サービス関連製品・ツールおよび開発環境

- ・ Apache Tomcat 4.1.31
- ・ Apache AXIS 1.1
- ・ BEA WebLogic Server (R) 8.1J
- ・ DataPower XS40 XML Security Gateway
- ・ gSOAP 2.7.1
- ・ Hitachi Cosminexus Version 6.5
- ・ **IBM WebSphere Application Server, Version 5.1**
- ・ **IBM Workplace Client Technology, Micro Edition – Enterprise Offering Ver5.8.1**
- ・ NEC ActiveGlobe BizEngine (参考出展)
- ・ NEC ActiveGlobe WebOTX Ver6.2
- ・ Oracle BPEL Process Manager 10.1.2
- ・ Oracle Application Server 10g 10.1.2

使用した上記以外の製品、サービス

- ・ NEC イン트라ネット向け翻訳システム CROSSROAD for Enterprise V2
- ・ Sky カメラ付き携帯電話レポートシステム SKY ACTIVE FIELD
- ・ 日立システムアンドサービス 百科事典「マイペディア」+ 知識検索技術
- ・ 日立ソフト 衛星画像 ASP サービス piXterra

注 1) 会社名、製品名等は 50 音順です。

注 2) 製品名等は各社の商標または登録商標です。

ご協力いただいた組織および会社

- ・ 愛知県 (愛知県の観光情報をご提供いただきました。)
- ・ ITS Japan (実証実験の場をご提供いただきました。)
- ・ (株)NTTデータ (愛知県の観光情報提供Webサービスをご提供いただきました。)
- ・ (株)高電社(日本語 韓国語,中国語の翻訳エンジンをご提供いただきました。)
- ・ (財)日本道路交通情報センター (道路交通情報Webサービスをご提供いただきました。)

- ・(社)日本観光協会（観光情報データをご提供いただきました。）
- ・マイクロソフト(株)（Windowsプラットフォームをご提供いただきました。）
- ・(有)ミントジャムス（リッチクライアントにおける衛星画像暗号化のためのコンポーネントをご提供いただきました。）
- ・(株)ライフビジネスウェザー（天気情報データをご提供いただきました。）

Web サービスとは

Web サービスとは、アプリケーションの機能をモジュール化し、Web 上のサービスとして提供するテクノロジーで、XML (Extensible Markup Language)、SOAP: XML Protocol、WSDL (Web Services Description Language)、WS-BPEL(Web Services Business Process Execution Language)、UDDI (Universal Description, Discovery and Integration)、WS-Security (Web Services Security) といった Web の標準テクノロジーを基盤として実現されます。提供された Web サービスは、ネットワークを通じて他のアプリケーション、サービスやシステムの一部として統合できます。また、Web サービスそのものをネットワーク上でダイナミックに結合しシステムを構築することも可能なため、サービス指向アーキテクチャ (SOA: Service Oriented Architecture) を実現する有力な技術として注目されています。アプリケーションが、他の Web サイトにあるアプリケーションの機能、すなわち Web サービスを利用できることが、人間を相手にすることを前提とする Web アプリケーションと違うところです。これにより、インターネット上のビジネスに大きなインパクトを与える可能性が期待されています。Web サービスが、インターネット上で安心して使える基盤が整い、多くのプラットフォーム間で相互接続できるとともに、やりとりするデータを盗聴や改ざんされることなく安全に送受信できるようにすることが、Web サービス普及のカギと言われています。

XML コンソーシアムについて

XML コンソーシアムは、XML 技術のビジネスにおける実用化推進を行う国内唯一の団体です。セミナー・イベント、部会活動、情報発信、標準化推進、各業界団体との連携などの具体的な活動を通じて、さまざまなコンピュータシステムにおける XML 技術の適用に貢献してまいります。

以上

< 本件に関するお問合せ先 >

XML コンソーシアム事務局 野田 （富士ソフト ABC 株式会社内）

TEL. 03-5600-6205

E-mail. xmlcons@fsi.co.jp

URL <http://www.xmlconsortium.org/>